

第43回ムーンビレッジ勉強会予告

宇宙で「いのちの始まり」を考える
－ 周産期・小児医療の視点からみる宇宙環境と人類の未来 －

中村枝利香

周産期小児宇宙医学協会 代表

慶應義塾大学医学部小児科

日時：2026年1月26日(月) 17時から
@クロス日本橋ベース＋ハイブリッド開催を予定



- 小児科医として臨床に携わりながら、宇宙での妊娠・出産・育児やその後の小児の成長・発達について多職種で検討する「周産期小児宇宙医学」領域の開拓に取り組んでいます。
- 2025年の日本宇宙航空環境医学大会シンポジウムでは、宇宙での妊娠・出産に伴う医学的リスク、宇宙空間における法的枠組みと責任の問題、生まれてくる子どもの安全をどう守るかという倫理的課題、企業による宇宙出産計画に関する懸念、そして年齢層や学生・社会人で異なるリスク認識について、幅広い専門家とともに検討を行いました。
- 今回の勉強会では、そのシンポジウムでの議論内容を振り返りつつ、宇宙環境が妊娠・出産・育児に与える影響・月面社会における「安心して子どもを産み育てる」ための条件・周産期小児宇宙医学研究の可能性について、地上の臨床経験と多職種対話をもとに紹介します。